

# 中部民商婦人部第36回定期総会開く

## 「私たちは負けない」を合言葉に 元気に頑張る婦人部をつくろう



▲婦人部を強く大きくしようと誓い合った定期総会

婦人部を代表して、酒井部長は「所得税法56条廃止の運動で、北海道は全国的に運動をリードしています。署名も4000筆を超え、一部員あたり12筆を集めました。皆さんの協力に心から感謝致します」と挨拶。

来賓として参加した赤木副会長は「婦人部のパワーにはいつも凄いと思っ見ています。本会も婦人部と一緒に頑張っています」と挨拶しました。北商連婦人部協議会の後藤会長は「中部民商婦人部の元気が頑張りに私自身も刺激を受けています。決起集会の台風に負けないパワーを婦人部は持っています。共に頑張りましょう」と述べました。

### 明るく元気で楽しい婦人部をつくれる

婦人部は18日(日)、第36回定期総会を開きました。総会では、一年間の活動を振り返りながら「所得税法56条廃止に向けた運動を進めていこう」と運動方針を提案。財政報告・新役員提案を賛成多数で採択しました。



▲運動方針を活発に討議した総会

尾谷共済会理事長は「全国の会議に行く、婦人部が元気な民商は、民商全体が元気だと言われている。中部民商はまさにそうになっています。これから女性が中心になって進めていく時代です。共に頑張りましょう」と激励しました。



▲私たちは負けない！と全員で声を上げました

全国業者婦人決起集会に参加した後藤幹事(当日は風邪で欠席。深井副部長が代読)は「議員要請行動では、自民・公明の議員は面会すら断り、他の議員もほとんど秘書が対応し、事務的に進められました。唯一共産党の紙智子参院議員だけが時間をかけて話を聞いて頂き、署名も預かってくれました。大きな盛り上がるの決起集会に、初めての参加でとても感動しました。行動すれば政治は変わる、変えられる事を実感しました」と熱い思いを語りました。

発言では、長崎で開かれた原水爆禁止世界大会に参加した酒井部長が「被爆者の体験を胸が詰まる気持ちで聞いていました。二度と原爆による犠牲者が出ないようにと、アメリカ力に行って講演を行う姿に感動しました。また、原爆症認定訴訟をたたかっているすべての原告を救済するという政府方針は、すべての被爆者と参加した私たちを大いに励ました」と報告と感想を述べました。



▲長年奮闘した役員へ感謝状と花束を贈呈

### 婦人部第36期新役員

(敬称略)

- 部長 酒井 恵(中5・除雪機販売)
- 副部長 深井千恵(ススキノ・リサイクル業)
- 〃 高島正子(南区・ダンプ運送)
- 〃 後藤升枝(納税・鉄鋼販売)
- 幹事 熊本 綾(中2・レストラン)
- 〃 成田友子(ススキノ・スナック)

新役員を代表して酒井部長は「引き続き明るく元気な婦人部を皆さんの力を借りながらめざします」と挨拶しました。

今期で退任される3人の役員に感謝状と横江会長から花束が贈られました。

懇親会では、ピンゴゲームに盛り上がり、それぞれが景品をゲットしていました。